

## 新型インフルエンザ対策実地訓練

投稿日：2014年11月29日 | カテゴリー：看護部ブログ

11月29日、当院で北播磨圏域新型インフルエンザ対策実地訓練が開催されました。

加東健康福祉事務所が主催ですが、当院は高橋感染管理認定看護師を中心に、これまで何回か打ち合わせを行い、訓練に臨みました。

北播磨圏域の医療機関、消防、行政から約100名の皆さまにご参加いただきました。

最初に、神戸大学医学部附属病院 感染症内科 大路先生より、「新型インフルエンザの現状と医療機関における感染対策」について講義をしていただきました。

その後、実地訓練に入りました。

患者さんは、3名です。

受付が終わると、陰圧式エアートtentで、トリアージを行い、医師の指示で迅速検査を実施します。検査結果が出ると、医師による診察が行われるというシナリオです。



患者数が増加し、感染拡大期の想定でしたが、インフルエンザは常に抗原変化を起こしているため、いつパンデミックになるかわかりません。本当にそうなったときに備えて、さらに検討していかなければならない課題が多いことに気づかされました。



加東健康福祉事務所の皆さまには、大変お世話になりました。

本日訓練の役割を担っていただいた職員の皆さま、朝から準備、リハーサル、後片付け等、本当にお疲れ様でした。

そしてご参加くださった皆さま、誠にありがとうございました。

副院長兼看護部長 藤原久仁子